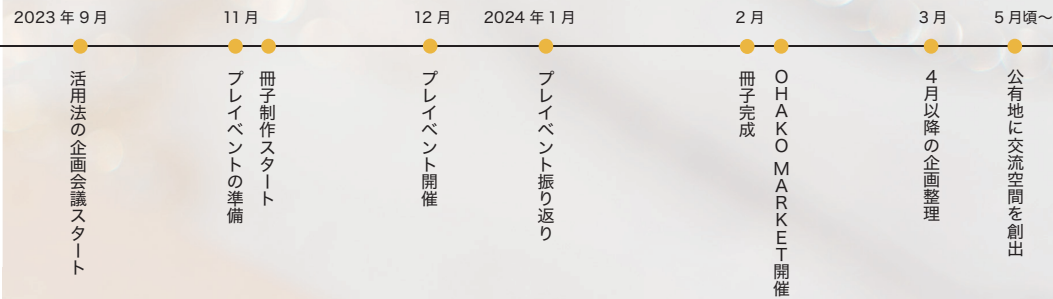


OHAKO プロジェクト 今までと今後の流れ

プロジェクトの主な流れ



▶ 2023年9月～2024年1月

ミートアップ・ミーティング実施

今回のプロジェクトの概要説明と参加者募集のミートアップ（共通の目的を持った人たちが集まる交流会）とミーティングを行いました。

▶ 2023年12月9日（土）

プレイイベント開催

まずは公有地活用の社会実験として、お試しイベントを開催。ミートアップやミーティングに積極的に参加してくださった方々と開催しました。

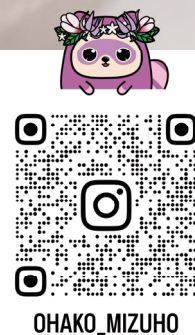
▶ 2024年2月4日（日）

OHAKO MARKET 開催

瑞穂町内外の様々な十八番（おはこ）を持つ出店者の方々計40店舗近くが集まり、町民の皆さんが主体となって作り上げるイベントを実施しました。今後も町民主体のイベントを行っていく予定です。

最新情報は Instagram で！

今後の OHAKO プロジェクトの動きやイベント詳細・最新情報は、随時瑞穂町の HP と OHAKO Instagram をチェックしてみてください。



みずほの“十八番”が詰まったタウンマガジン

OHAKO MAGAZINE

おはこマガジン

TAKE
FREE



P2-3 OHAKO プロジェクト始動！

P4-5 みずほのひと

P6 みずほのこと

P7 OHAKO PROJECT MEMBER

P8 OHAKO プロジェクト 今までと今後の流れ

OHAKO MAGAZINE

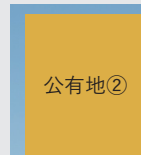
箱根ヶ崎駅西口に新たなにぎわいを！/ OHAKO プロジェクト 始動！

箱根ヶ崎駅西口の未来予想図

JR 八高線の箱根ヶ崎駅西口にある公有地。しばらく未活用となっていたこの場所を、多摩都市モノレールの延伸を見据えた10数年後までを目処に活用法をまちの方々と一緒に考えるのが「OHAKO プロジェクト」。2023年から町民をはじめとした地域の皆さんの十八番＝おはこをそれぞれ持ち寄り、主体的・自発的・積極的にこの事業に関わってくださる

方々と共に、駅周辺の段階的なにぎわい創出に向けたコミュニティ拠点づくりを行っていきます。

瑞穂町と事業のサポートを行うけやき出版＋拠点整備を行う相羽建設という2社の事業者が関わりますが、あくまで主役は町民を中心とした地域の皆さんです。ぜひ地域住民×行政×事業者の協働プロジェクトで、瑞穂町を盛り上げていきましょう！



西口

JR 箱根ヶ崎駅

至 拝島・八王子方面

至 飯能方面



チャレンジショップやワークショップができる小屋「みずこや」が5月頃完成予定

ミニキッチン完備したショップ機能のある「みずこや」(瑞穂の小屋)を整備予定。キッチンには窓も付いており、テイクアウトの対応も可能に。トイレも小屋内にあるので、長時間の利用も安心です。



屋台を使ってマルシェなどのイベントも随時開催できる！

屋台2台と無人販売所1台が利用可能。屋台は折りたたみ式なので、使用しない時は「みずこや」の中の倉庫に収納可能。鍵付きの料金箱が設置された無人販売所では、地産地消の野菜の販売なども可能なため、毎日訪れたいようになってしまいかも！？



Interview

公有地でお店を始めたい！

「町民参加型」を掲げ、2023年9月から定期的にこのプロジェクトに関わりたいと手を挙げてくださった方々と一緒に、プレイベントの開催やこの冊子づくりを行ってきました。公有地の「管理人」になり、自分のお店をこれから瑞穂町でオープンさせたいという想いを持つプロジェクトメンバーの一人、荒川さんにお話を伺ってみました。

MUMU COFFEE BEANS 荒川さん

自分は9月に行われた初回の OHAKO ミートアップの会議から参加しました。公有地で何をしたいかの質問に、「珈琲屋を開きたい」と答えたんです。瑞穂町で店を開きたいと漠然と考えていたところで、OHAKO の案内を見かけ「これだ!」と思いました。コーヒーは昔から好きでしたが、本気で取り組み始めたのはこの1年ちょっとです。豆もたくさんの種類がありますし、その豆に合わせた焙煎が必要になるので、とても奥が深いです。OHAKO のスペースでコーヒーのお試し販売などをすることで、この場所で多くの方がくつろげるスペースにしたいと思っています。OHAKO プロジェクトは、やりたい人が声を上げてできることを協力しながら盛り上げるプロジェクトなので、自分もどんどん積極的に関わっていきたくです。

取材・秋元江里



Ron's cafe (ロンズカフェ)

自分の思い描いた
カフェをつくりたかった

旧青梅街道沿いにある、たくさんの人の憩いの場となっているお店が、ロンズカフェ。青梅の創業塾で学んだり、教室で料理やお菓子の技術を身につけた店主の清水浩美さんが築60年以上の家を叔父から譲り受け、7年前にオープンさせた。近隣だけでなく、立川から埼玉まで様々な場所から訪れる人が多い人気のお店。料理ではできるだけ地産地消を心がけ、ドレッシングやグラノーラまでもが自家製。マルシェや音楽イベントなども定期的に行っており、「これからは自分のようにチャレンジする人が増えてほしい」と、清水さんは話す。

- ◎ 水～土 11:30～16:00 (15:30 LO)
- 月・火・日曜休み
- ◎ 瑞穂町石畑 1786-1
- 📍 駐車場あり
- ☎ 042-556-5889



文章・門間愛実 撮影・川嶋祥美

みずほで行きたい
くつろぎカフェ案内

地元野菜を使った体に優しい料理を提供しているカフェと、自宅を活用して本業の傍ら営業しているカフェ。瑞穂町民にとっておきの、隠れ家カフェをご紹介します。

自宅の一部を活用して
夫婦で営むカフェ

住宅街の中にポツンと佇むカフェ「HANARE」は、一見ギャラリーのような趣のお店。奥にご自宅があり、ご夫婦それぞれが本業の傍ら担当し、陽平さんが火曜日、美奈さんが日曜日に開店している。店内に一步足を踏み入ると、多肉植物などのグリーンが彩り美しくディスプレイされている。カメラマンでもあり多肉植物のエキスパートでもある陽平さんのセンスが光る空間を活かし、「これからは瑞穂町の外の人たちも増やし、この場所を活用しながらイベントなどにも精力的に関わっていきたい」と語ってくれた。

- ◎ 火・日曜 13:00～18:00
- 月・水～土曜休み
- ◎ 瑞穂町長岡 4-10-8
- 📍 https://www.instagram.com/cafehanare_mizuho/



HANARE (はなれ)

瑞穂で活躍するお二人に聞いてみた

つながるご縁とまちの可能性

町内小・中学校のPTAで一緒に活動したことから知り合った中沢さんと浜崎さん。競技は異なりますが、スポーツの団体を創設して活動されている点でも共通点のあるお二人にそれぞれの活動・瑞穂・子どもたちのこと、始まったばかりの OHAKO プロジェクトについてお話を伺いました。



中沢清さん

子どもたちが
誇れるまちに

— お二人が運営されている団体について教えてください。

浜崎 参武会という武道を通して青少年育成を主とした総合格闘技の団体です。ストレッチ体幹クラスなどもあり、他のスポーツからの参加含め老若男女幅広いメンバーで活動しています。

中沢 ナカザワジムというマウンテンバイクのレースチームと、西多摩マウンテンバイク友の会という里地里山の保全活動などのボランティア団体を運営しています。

— 瑞穂町で活動を始められたきっかけは何ですか？

浜崎 瑞穂の人やまちとの「縁」です。25年くらい前、公園の街頭の下など屋外で活動していたところ、格闘技つながりで瑞穂の人と土地の縁に恵まれたおかげで、今の武道館に辿り着き瑞穂武道館をベースに本格的な活動を始めました。

中沢 私は足立区出身なのですが、マウンテンバイクに乗る上で瑞穂町は狭山丘陵や西多摩の

里山のちょうど真ん中に位置していて、そこで店をやるのが良いなと思い瑞穂町で開業しました。

— 地域に溶け込んで活動をされている理由を教えてください。

浜崎 いろいろなご縁で、瑞穂武道館という素晴らしい場所を参武会のベースにさせていただいているので、感謝と恩返しの気持ちを込めて活動しています。

中沢 専用のコースではなく、マウンテンバイクを自然の中で乗るために大切なこととして、自然環境や他の利用者に配慮して親しむことであり、それにはまず地域住民や行政との関係を築くことを前提として考えているので、里地里山や地域の様々なボランティア活動をしています。

— 今後の活動の目指しているところは？

浜崎 子どもの頃参武会に所属し、瑞穂武道館に通っていた鈴木千裕という選手が、昨年 RIZIN という団体にチャンピオンになりました。子どもの可能性を信じ続けることで無限に成長し、これだけの選手が生まれたのは、瑞穂という場所が良かったんだと思っています。これからも子どもから大人まで楽しめる環境を作りつつ、子どもたちの成長を信じ続けたいと思います。

中沢 昨年、チームが国内で開催されるマウンテンバイクの競技・エンデューロナショナルシリーズでチャンピオンを取りました。中学生から50代までのメンバーが力を合わせた結果です。今年も皆で頑張りたいです。

子どもには
無限の可能性が
あるんです

浜崎崇さん

— 今回の OHAKO プロジェクトについて、どう感じていますか？

浜崎 初めての試みということで手探りからのスタートではありますが、この瑞穂というまちの中でそれぞれの得意な分野を集結させ、瑞穂ってこんなにすごいんだぜということを伝え、この OHAKO プロジェクトで輝かせる場所にしたいです。

中沢 子どもたちを見ると、無限の可能性を感じます。ちょっとしたことで、変化し成長していることに日々気づかされます。OHAKO プロジェクトは始まったばかりで可能性が無限にあると思いますが、失敗を恐れずチャレンジしてみて、こんなこと「やってもいいの?」、思っている方が挑戦してくるようになれば、瑞穂の誇れるものになるような気がします。

町民推薦！瑞穂のおすすめ撮影スポット

東部には狭山丘陵が広がり、豊かな自然が魅力の瑞穂町。緑あふれる中でも、住んでいないと気づかないような隠れた魅力あるスポットが点在しています。普段通りすぎるだけでは気づかない、瑞穂町のおすすめスポットを探しに行ってみませんか？

元狭山ふるさと思い出館(図書館)

大人みずほ
ノスタルみずほ



瑞穂町図書館の地域図書室として 1991 年に開館。靴を脱いで上がるアットホームな図書館で、ノスタルジーあふれる雰囲気心が和みます。

◎ 瑞穂町二本木 710

のどかな自然に囲まれた
古き良き建物

瑞穂町営少年サッカー場からの夕景

青春みずほ
絶景みずほ



耕心館裏の駐車場近く、瑞穂町営少年サッカー場からは冬の時期に美しいグラデーションの夕景が見られます。春には桜並木に様変わりします。

◎ 瑞穂町駒形富士山 2475

耕心館裏のすぐ近く
冬の絶景スポットはココ

六道山公園の庚申塔

隠れみずほ
ノスタルみずほ



展望塔が有名な六道山公園の入口近くに、江戸時代後期に建立された庚申塔型の石碑があります。庚申塔の脇に佇む榎の木が、さらに存在感を引き立てます。

◎ 瑞穂町石畑 2261

六つの道が交差する
歴史に想いを馳せる

さやま花多来里の郷のカタクリ

自然みずほ
絶景みずほ



瑞穂町といえば、のカタクリの花。「さやま花多来里の郷」では、数万株に1株といわれる幻の白いカタクリが花を咲かせます。

◎ 瑞穂町駒形富士山 243-1

早春に約20万株の
カタクリが咲き誇る

ジュンサイ池の紅葉

大人みずほ
隠れみずほ



「瑞穂ビューパーク・スカイホール」内にある「ジュンサイ池公園」。秋にはメタセコイヤをはじめとする木々の紅葉が楽しめるスポット。

◎ 瑞穂町箱根ヶ崎 2475

紅葉の時期こそ
スカイホールへGO！

瑞穂ビューパーク・スカイホールからの富士山

隠れみずほ
絶景みずほ



施設が高台にあることから、富士山を背景にまちを一望できるのが「瑞穂ビューパーク」。遠くは奥多摩や丹沢連山と富士山との壮大な山並みも見られます。

◎ 瑞穂町箱根ヶ崎 2475

町内で富士山見るなら
瑞穂ビューパークで

おはこプロジェクトメンバー

OHAKO PROJECT MEMBER

公有地活用に向けて始動した、OHAKO プロジェクト。概要紹介を含めた今回の OHAKO MAGAZINE の制作には、瑞穂町の町民の皆さんが参加してくださいました。取材、ライター、撮影、校正、そして取材先として関わってくださった皆さん、ありがとうございました！

Private salon ERY

秋元江里さん

子育てをしながらボディケアの仕事をしています。PTA 役員やマルシェ出店を通して出会いが増え、人生が楽しくなっています。瑞穂町にはたくさんの魅力ある人や場所がありますが、さらに暮らしやすく人との出会い・ご縁をつなぐ場所になるお手伝いができたらいいなと思い OHAKO プロジェクトに参加しています。



MUMU COFFEE BEANS

荒川宗一郎さん

瑞穂町を拠点に、自家焙煎のスペシャルティコーヒー（豆、粉、ドリンク）を販売しています。お客様一人ひとりのハッピーライフに欠かせない、親友のような“STAND BY ME” なお店を近い将来、瑞穂町内でオープンすることを目標に、現在は通販やイベント出店などをメインに営業を行っています。



Perla Pura

川嶋祥美さん

イタリア語で“純粋な真珠”という意味の、「Perla Pura (ペルラ・プーラ)」という様々なパールを使ったハンドメイドアクセサリーの販売と講師をしています。生き生きと笑顔あふれる瑞穂町の「和と輪」、OHAKO イベントにお越しくださった方全員がまた開催してほしいと思えるようなイベントを目指しています！



Kdesign

吉水清恵さん

アロマコーディネーター、ヨーガセラピストとして活動しながら、あずきカイロなどの販売をしています。すべては『心地いいデザインする』をテーマに、心穏やかにふんわりとゆるむ時間と空間を届けたい一心です。この OHAKO プロジェクトも、瑞穂町にとって良いエネルギーの発信源となるよう活動してきたいと思っています。



浜崎崇さん

たくさんの縁に恵まれ私自身を育ててくれた瑞穂町に少しでも恩返しができたらと、青少年育成、小中学校の PTA、防災イベントなどいろいろな場面で関わらせていただいています。今回、この OHAKO プロジェクトはたくさん魅力がある瑞穂町の十八番を集め、町民主導で盛り上げようという初めての試みです。来場する方も、出店する方も、皆が輝ける場所になるように、微力ながら精一杯行動していきたいです。



門間愛実さん

国際製菓専門学校高等課程 2 年生です。経験のひとつとして新しいことに取り組みたいと思い、このプロジェクトに参加しました。今回取材したロンズカフェさんの清水さんはとても素敵な方で気さくにインタビューに答えてくださり、大切なことを学ばせていただきました。瑞穂にはたくさんの素晴らしいもの、食べ物、場所であふれています。見えない良さも掘り起こし多くの人に瑞穂町を楽しんでもらいたいです。



中沢清さん

狭山丘陵や身近な自然のある瑞穂町の環境が好きで、このまちに自転車店を開業して 25 年目。今では PTA や瑞穂きらめき回廊、そして協働のまちづくりに関わり、多くの人とつながりながらまちの持つ魅力を磨き上げていきたいと活動中。OHAKO をまちの楽しいものが集約される場所に、そこからその楽しさが外に広がっていくようなものにしていきたいです！

